



[平成22年度設置]

計画の区分：大学の設置

横浜美術大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 トキワ松学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 横浜美術大学総務課

職名・氏名 ソウムカチウ ヨシハラ アツヒサ
総務課長 吉村 昌久

電話番号 045-963-4061

（夜間） 045-963-4061

F A X 045-961-7371

e-mail keiri@yokohama-art.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

目次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 トキワ松学園

(2) 大学名

横浜美術大学

(3) 大学の位置

〒227-0033
神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1204番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マガラ ヤスモト) 眞柄 泰基 (平成20年4月)		
学長	(ハルヤマ フミノリ) 春山 文典 (平成22年4月)		
学部長	(クツマ ヒロシ) 沓間 宏 (平成22年4月)	(クツマ (マルヤマ) ヒロシ) 沓間(丸山) 宏 (平成22年4月)	戸籍上の本姓が()内 のとおりとなったため。 (22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)
平成22年度に報告する内容 → (22)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 美術学科 学士(美術)	4年	190人	3年次 6人	772人	平成22年4月に1年次、3年次同時開学

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	()人	()人	(190)人	0.66倍 1.15倍	()内は3年次開学分を示す。
志願者数	()	()	()	(137)		
受験者数	()	()	()	(134)		
合格者数	()	()	()	(130)		
B 入学者数	()	()	()	(127)		
入学定員超過率 B/A	()	()	()	(0.66)		
	—	—	—	1.15		

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備 考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[]	[]	[0]	
2年次	/	[]	[]	[]	
3年次	/	/	[]	[1]	
4年次	/	/	/	[]	
計	[]	[]	[]	[1]	
	—	—	—	347	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度	計 [0] 0	(累積)計 [0] 0	[0 %] 0 %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 0人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<美術学部 美術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	初年次 教育	アカデミックリテラシー	1前	2			2	2					
		小計 (1科目)	—	2	0	0	2	2					
	人文	哲学概論	1・2前後		2			1					
		文学	1・2前後		2			1					
		心理学	1・2前後		2								
		教育学概論	1・2前後		2			1					兼1
		教育心理学	3・4後 3・4前		2								兼1
		教育哲学	3・4前後		2			1					
		小計 (6科目)	—	0	12	0		2					兼2
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		1						
		日本国憲法	2・3前後		2		1						
		法学特論	3・4前後		2		1						
		知的財産法A	2・3前後		2		1						
		知的財産法B	2・3前後		2		1						
		歴史学概論	1・2前後		2								兼1
		経済学	1・2前後		2								兼1
			小計 (7科目)	—	0	14	0	1					
	体育	体育	1・2通		2								兼2
		小計 (1科目)	—	0	2	0							兼2
	外国語	英語 I	1通	2				1					
		英語 II	2・3前後		2								兼1
		フランス語 I	1・2前後		2								兼1
		フランス語 II	2・3前後		2								兼1
			小計 (4科目)	—	2	6	0		1				
	造形	造形表現 (彫刻A)	1・2前後		2		1					1	兼1
		造形表現 (彫刻B)	1・2前後		2		1					1	
		造形表現 (描画A)	1・2前後		2		1					1	
		造形表現 (描画B)	1・2前後		2		1					1	
		造形表現 (工芸A)	1・2前後		2		1					1	
		造形表現 (工芸B)	1・2前後		2							1	兼1
		造形表現 (デザインA)	1・2前後		2		1					1	
		造形表現 (デザインB)	1・2前後		2		1					1	
			小計 (8科目)	—	0	16	0	3					4
	メディア表現	情報処理概論	1・2前後		2			1					
		コンピュータリテラシー	1・2前後		2			1					
		コンピュータ編集	2・3前後		2			1					
コンピュータハードウェア		2・3後		2			1						
コンピュータネットワーク		2・3前		2			1						
コンピュータグラフィックス		2・3後		2								兼1	
ウェブデザイン I		1前		2			1				1		
ウェブデザイン II		1後		2			1				1		
ウェブデザイン演習		2前		2							1	兼1	
ウェブプログラミング演習		2後		2			1				1		
マルチメディア演習		2前		2							1	兼1	
3D表現		2前後		2							1	兼1	
	小計 (12科目)	—	0	24	0		1				2	兼3	

履修上のバランスを配慮して、配当年次を変更(22)

※講義

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	一般教養	総合	原典講読	3・4前		2		1	2					兼1 兼1 <small>オムニバス</small>	
			教養演習	3・4後		2		2	2						
			環境科学	1・2前後		2									
			キャリアデザイン講座	3・4前後		2									
			ボランティア講座	2・3通		2		2							
		小計 (5科目)	—	0	10	0	4	2					兼2		
		美術理論	専門教養	美学概論	1・2前後		2							兼1 兼1 <small>オムニバス</small> 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼6	
	色彩概論			1・2前後	2				1						
	色彩特論			3・4前後		2				1					
	造形美術論Ⅰ			1・2前後	2			1							
	造形美術論Ⅱ			1・2前後		2		1							
	造形図法			1・2前後		2				1					
	構図論			1・2前後		2				1					
	美術解剖学			1・2前後		2									
	美術表現論			2・3前後		2		2							
	現代美術論			3・4前後		2		1							
	デザイン概論			1・2前後	2					1					
	デザイン特論			3・4前後		2				1					
	映像論			3・4前後		2				1					
	絵本論			3・4前後		2				1					
漫画論	3・4前後				2										
身体表象論	3・4前後		2				1								
工芸論	3・4前後		2			1									
環境デザイン論	3・4前後		2												
パフォーミング・アーツ論	3・4前後		2												
美術教育論	3・4前後		2			1									
芸術企画論	3・4前後		2			1									
博物館概論	1・2前後		2				1								
	小計 (22科目)	—	6	38	0	4	5					兼6			
	美術史		西洋美術史Ⅰ	1前	2			1							
西洋美術史Ⅱ			1・2後		2		1								
西洋美術史特論			3・4前後		2		1								
西洋工芸史			3・4前後		2		1								
日本美術史Ⅰ			1前		2			1							
日本美術史Ⅱ			1・2後		2			1							
東洋美術史			1・2前後		2			1							
	小計 (7科目)	—	2	12	0	1	1								
	造形演習		絵画	3前後		2			1			1	兼1 <small>オムニバス</small>		
工芸			3前後		2		2	1			1	兼1 <small>オムニバス</small>			
ビジュアルデザイン			3前後		2		3	2			2	兼1 <small>オムニバス</small>			
小計 (3科目)			—	0	6	0	5	4			4	兼1			
共通科目	基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー (導入)	1前	2			3	2		1	8	兼8		
			美術リテラシー (彫刻)	1・2前		2		1				2			
			美術リテラシー (描画)	1・2前後		2		2				2			
			美術リテラシー (工芸)	1・2後 1・2前		2		1				1	履修上のバランスを配慮して、配当年次を変更(22)		
			美術リテラシー (デザイン)	1・2前		2		1	1			2			
			美術リテラシー (デジタル)	1・2前		2			1			4	兼1		
			美術リテラシー (DTP)	1・2前後		2						4	兼2		
			美術リテラシー (Web)	1・2前後		2						4	兼4		
			小計 (8科目)	—	2	14	0	6	4		1	12	兼15		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	絵画領域 絵画	絵画基礎Ⅰ	1前	2※		1					2	兼2	※1年次 履修必須		
		絵画基礎Ⅱ	1後	6※		1	1				2	兼4	※1年次 履修必須		
		絵画基礎Ⅲ	2前	6※		2	1				2	兼4	※1年次 履修必須		
		絵画基礎Ⅳ	2後	8※		1					2	兼6	※1年次 履修必須		
		絵画Ⅰ	3前	8※		2	1				2	兼4	※1年次 履修必須		
		絵画Ⅱ	3後	8※		2	1				2	兼4	※1年次 履修必須		
		美術研究Ⅰ（絵画）	4前	2※		2	1				2		※1年次 履修必須		
		美術研究Ⅱ（絵画）	4前	2※		2	1				2		※1年次 履修必須		
		美術研究Ⅲ（絵画）	4前	2※		2	1				2		※1年次 履修必須		
		美術研究Ⅳ（絵画）	4前	2※		2	1				2		※1年次 履修必須		
		小計（10科目）	—	0	46	0	2	1				4	兼14		
	共通（工芸）	素材表現基礎	1前		2※		1	1				3	兼4	※1年次 履修必須	
		平面表現基礎	1後		2※			1			1	2		※1年次 履修必須	
		立体造形基礎	1後		2※		1					2	兼1	※1年次 履修必須	
		メタルクラフト基礎	2前		2※		1					1	兼1	※1年次 履修必須	
		テキスタイル基礎	2前		2※			1			1	1	兼1	※1年次 履修必須	
		クラフト（形体）	2前		2※		1					1	兼2	※1年次 履修必須	
		クラフト（空間）	2前		2※						1	1	兼2	※1年次 履修必須	
		小計（7科目）	—	0	14	0	2	1			1	4	兼7		
		クラフトデザイン	メタルクラフトⅠ（彫金技法によるデザイン）	2後		2※		1					1	兼2	※1年次 履修必須
			メタルクラフトⅡ（鍛造技法の応用）	2後		2※		1					2	兼1	※1年次 履修必須
			エクステリアエレメント	2後		2※		1					1	兼1	※1年次 履修必須
	工芸計画（クラフト）		2後		2※		1					1		※1年次 履修必須	
	クラフトデザインⅠ（接合技法とメタルクラフト）		3前		2※		1					1	兼1	※1年次 履修必須	
	インテリアエレメントA（木と金属の家具デザイン）		3前		3※		1					2	兼1	※1年次 履修必須	
	クラフトデザインⅡ（器のデザイン）		3前		3※		1					2	兼1	※1年次 履修必須	
	クラフトデザインⅢ（機能と道具のデザイン）		3後		4※		1					2	兼3	※1年次 履修必須	
	—		3後		4※		1					3	兼2	※1年次 履修必須	
	美術研究Ⅰ（クラフトデザイン）		4前		2※		1					3	兼3	※1年次 履修必須	
	美術研究Ⅱ（クラフトデザイン）		4前		2※		1					3	兼4	※1年次 履修必須	
	美術研究Ⅲ（クラフトデザイン）		4前		2※		1					3	兼2	※1年次 履修必須	
	美術研究Ⅳ（クラフトデザイン）		4前		2※		1					3	兼1	※1年次 履修必須	
	小計（13科目）	—	0	32	0	3					3	兼6			
	テキスタイルデザイン	テキスタイルⅠA（織りの基本技法と知識）	2後		2※						1	1	兼1	※1年次 履修必須	
		テキスタイルⅠB（プリントデザイン）	2後		2※			1				1	兼1	※1年次 履修必須	
		テキスタイルⅡA（ウェアラブルデザイン）	2後		2※			1			1	1	兼1	※1年次 履修必須	
		工芸計画（テキスタイル）	2後		2※						1	2	兼5	※1年次 履修必須	
		テキスタイルⅡB（プリントとデザイン展開）	3前		2※		1					1	兼2	※1年次 履修必須	
		テキスタイルⅢ（ファブリックアート）	3前		3※		1				1	1	兼1	※1年次 履修必須	
		インテリアエレメントB（家具とカバリングデザイン）	3前		3※		1					3	兼2	※1年次 履修必須	
		テキスタイル総合表現	3後		8※			1			1	1	兼3	※1年次 履修必須	
		美術研究Ⅰ（テキスタイルデザイン）	4前		2※		1	1			1	2	兼3	※1年次 履修必須	
		美術研究Ⅱ（テキスタイルデザイン）	4前		2※		1	1			1	2	兼3	※1年次 履修必須	
		美術研究Ⅲ（テキスタイルデザイン）	4前		2※		1	1			1	2	兼3	※1年次 履修必須	
		美術研究Ⅳ（テキスタイルデザイン）	4前		2※		1	1			1	2	兼3	※1年次 履修必須	
	小計（12科目）	—	0	32	0	1	1			1	3	兼10			
ビジュアルデザイン領域 共通（ビジュアル）	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ（共通課題）	1前		2※		1				1	4	兼4	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ（共通課題）	1・2前後		3※			1				4	兼4	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン基礎A（グラフィックデザイン）	1・2前後		3※			2			1	4	兼3	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン基礎B（映像メディアデザイン）	1・2前後		3※		1	1				4	兼2	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン基礎C（イラストレーション）	1・2前後		3※			1			1	4	兼3	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン実践A（グラフィックデザイン）	2後		4※		2	2				4	兼4	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン実践B（映像メディアデザイン）	2後		4※		1	2				4	兼5	※1年次 履修必須		
	ビジュアルデザイン実践C（イラストレーション）	2後		4※			3				4	兼4	※1年次 履修必須		
	小計（8科目）	—	0	26	0	4	4			1	4	兼14			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	グラフィックデザイン	グラフィックデザインⅠ(共通課題)	3前	4※		2	1				2	兼3	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・・エディトリアル)	3前後	4※		1	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		グラフィックデザインⅡB(デジタルコミュニケーション)	3前後	4※		2	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエイション)	3後	4※		1					2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				2	兼4	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				2	兼4	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				2	兼4	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				2	兼4	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
	小計(8科目)	—	0	24	0	2	1				3	兼5		
	映像メディアデザイン	映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	3前	4※		1					1	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	3前	4※			1				1	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	3後	8※		1					1	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)	3後	8※			1				1	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
		美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ	
	小計(8科目)	—	0	32	0	1	1				2	兼5		
	イラストレーション	イラストレーションⅠ(発想と描写①)	3前	4※		1	2				1	2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		イラストレーションⅡ(発想と描写②)	3前	4※		1	2				1	2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		イラストレーションⅢ(エディトリアル)	3後	4※		1	2				1	2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		イラストレーションⅣ(絵本)	3後	4※		1	2				1	2	兼2	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		美術研究Ⅰ(イラストレーション)	4前	2※		1	2					2	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		美術研究Ⅱ(イラストレーション)	4前	2※		1	2					2	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		美術研究Ⅲ(イラストレーション)	4前	2※		1	2					2	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ
		美術研究Ⅳ(イラストレーション)	4前	2※		1	2					2	兼1	イ・ロ・リ・ニ・ホ
	小計(8科目)	—	0	24	0	1	2				1	2	兼4	
域全	卒業制作	4後	8			7	6			1	10	兼19		
	小計(1科目)	—	8	0	0	7	6			1	10	兼19		
通	合計(159科目)	—	22	384	0	14	12			2	27	兼75		

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	151	0	159	8	151	0	159	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	37,265 m ²	0 m ²	0 m ²	37,265 m ²					
	運 動 場 用 地	3,800 m ²	0 m ²	0 m ²	3,800 m ²					
	小 計	41,065 m ²	0 m ²	0 m ²	41,065 m ²					
	そ の 他	325 m ²	0 m ²	0 m ²	325 m ²					
	合 計	41,390 m ²	0 m ²	0 m ²	41,390 m ²					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	16,335m ² (16,335m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	16,335m ² (16,335m ²)						
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	8室	6室	45室	6室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	美術学部			28 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	図書を充実させる ため雑誌等の 経費を回した。 (22)		
	美術学部	44,530 [6,594] (44,530 [6,594])	80 [19] (80 [19])	2 [1] (2 [1])	1,256 (1,256)					
		44,000 [6,500] (44,000 [6,500])	150 [15] (150 [15])	2 [2] (2 [2])	1,330 (1,330)	0 (0)			0 (0)	
		(44,000 [6,500])	(150 [15])	(2 [2])	(1,330)					
	計	44,530 [6,594] (44,530 [6,594]) 44,000 [6,500] (44,000 [6,500])	80 [19] (80 [19]) 150 [15] (150 [15])	2 [1] (2 [1]) 2 [2] (2 [2])	1,256 (1,256) 1,330 (1,330)	0 (0)			0 (0)	
(6) 図 書 館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	715m ²		115席		80,000冊					
(7) 体 育 館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,053m ²		体育用具室 190.0m ²							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子 ジャーナルの整 備費(運用コス ト含む)を含 む。 図書を充実させ るため。(22)
		教員1人当り研究費等		350千円	350千円	350千円	350千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	20,265千円 20,066千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	188,031千円 204,768千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円	— 千円	— 千円	納品が次年度と なったため。 (22)	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,748千円	1,448千円	1,448千円	1,448千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	横浜美術短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
造形美術科	2年	—人	—年次人	—人	短期大学士(芸術)	—倍	昭和41年度	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1204	※平成22年度より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<美術学部 美術学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	城井 光広 (50)	平成22年4月	造形表現(デザインA) 造形表現(デザインB) ビジュアルデザイン※ 美術リテラシー(導入) 美術リテラシー(描画) ビジュアルデザイン基礎I(共通課題)※	専	教授	山田 弘和 (58)	平成22年4月	造形表現(デザインA) 造形表現(デザインB) ビジュアルデザイン※ 美術リテラシー(導入) 美術リテラシー(描画) ビジュアルデザイン基礎I(共通課題)※	平成21年12月 城井光広教授(予定)辞退のため平成22年度より担当者の変更 平成22年1月 教員審査済判定可(22)
兼任	講師	秋本 貴之 (48)	平成22年4月	美術リテラシー(導入)	兼任	講師	奥秋 由美 (42)	平成22年4月	美術リテラシー(導入)	平成22年4月から科目の充実を図るため及び時間割上の理由により担当変更(22)
					兼任	講師	奥秋 由美 (42)	平成22年4月	絵画基礎I※	平成22年4月から科目の充実を図るためオムニバス担当者の追加(22)
専	教授	長谷川 昇 (61)	平成22年4月	教職入門	兼任	講師	高橋 靖直 (67)	平成22年4月	教職入門	平成22年2月 教職課程認定に伴い平成22年度より担当者の変更(22)
兼任	講師	内藤 昌孝 (69)	平成22年4月	教育制度論					教育制度論	
専	准教授	杉山 倫也 (42)	平成22年4月	教育方法論	兼任	講師	臼井 嘉一 (64)	平成22年4月	教育方法論	平成22年2月 教職課程認定に伴い平成22年度より担当者の変更(22)

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」には、平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	12	0	2	28	27	14	12	0	2	28	13	
(14)	(12)	(0)	(2)	(28)	(13)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ14]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	城井 光広	一身上の都合のための辞退申し出による。なお、当該人は開設前に横浜美術短期大学を平成21年12月31日付けをもって退職した。
2			
3			

(注)・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

後任者は辞退者が担当予定していた全授業科目を引き続き担当することとなり、そのすべての授業科目について「可」の判定を受けて、シラバス及び時間割はそのまま継続できて、それぞれ後任者の氏名を入れることができ、学生の履修等への影響は特になし。開設4ヶ月前に辞退の申し出があり、平成22年1月のAC教員審査に十分な時間的準備ができた。以上のとおりすべて変更が完了した状態で開学を迎えることができた。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	平成22年度開学となり、設置計画の確実な履行を行なっている。 教育研究活動の水準を一層向上させるための方策を学内の委員会等で検討開始している。	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<美術学部 美術学科>

(1) 設置計画変更事項等

特に変更なし

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

横浜美術大学FD推進委員会設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成22年4月1回開催。今後月1回程度開催予定。（教員は6名参加）

c 委員会の審議事項等

- ①FDにかかる調査・研究に関すること。
- ②教育の内容及び方法を改善するための支援に関すること。
- ③教育改善に係る評価に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート（5月から実施）
- ・ 教員相互の授業参観（6月から実施）
- ・ 授業参観の結果を踏まえた研修会（7月から実施）

b 実施方法

授業評価アンケートは各授業の最終日に実施する。

教員相互の授業参観は各教員が年度ごとに2科目を参観する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

未実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

平成23年4月以降に実施予定

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年6月1日予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.yokohama-art.ac.jp/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。